二十歳、門出の日

令和4年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。本町では、本年度20歳になる人を対象に従来の「成人式」を「二十歳（はたち）の記念式」と名称を変更して開催しました。

令和5年二十歳の記念式

「令和5年二十歳の記念式」が、1月8日、文化センターで開催され、対象者353人のうち231人が出席しました。今回の式典のテーマは、「★ We are twenty ★」です。

校区ごとに記念撮影をした後に行われた式典の部では、関谷（せきや）ほのかさん（松前中出身）、大川由翔（おおかわゆうと）さん（北伊予中出身）、橘明花（たちばなはるか）さん（岡田中出身）の3人が、「松前町で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきたい」と決意を述べました。

続いて行われたイベントの部では、実行委員がさまざまな企画を用意。代表者によるスピーチのほか、豪華景品が当たる抽選会、突撃インタビューなどが実施され、ユーモアあふれる内容に大きな歓声が上がる場面も―。実行委員作成の動画では懐かしの恩師が次々登場し、参加者たちは、昔を懐かしみながら楽しんでいました。

コロナ禍での式典開催に感謝の気持ちを述べながら、旧友との再会を喜んだ参加者は、輝く未来へ向かって歩き出します。

1_ 校区ごとに記念撮影
2・3_ 旧友との再会を懐かしむ
4_ 各中学校の校旗を掲げて誓いの言葉を述べる
5_ 実行委員の自己紹介でイベントがスタート
6～8_ たくさんの企画で会場が一体に

We are twenty　20歳の主張

※（　　）は出身校

夢はかなう。私たちには明るい未来がある

三好（みよし） 秀虎（ひでとら）さん（岡田中）

持ち前の明るさに加え、お調子者だった私は、岡田中学校を卒業すると高校でも数えきれないほどの思い出をつくり、心身共に成長しました。高校卒業後は、大阪の大学へ。しかし、入学して約1年で決心しました。私は、理美容師になるという大きな夢を持ち、大学を辞めて就職しました。現在は、東京の店で、毎日朝早くから夜遅くまで働いています。髪を切りたい人は、ぜひ私の店へお越しください。

ここにいる皆さんも一人一人違う人生を歩んでいることでしょう。夢に向かって順調に走っている人もいれば、大学の勉学面で悩んでいる人もいるでしょう。しかし、私たちの人生はまだまだ長く、明るい未来が待っています。

そんな私たちが、このように盛大な記念式を開催できたことを誇らしく感じます。今日は、全力で楽しみましょう。

今からでも遅くない。一度立ち止まることも大切

井上（いのうえ） 拓（たく）さん（松前中）

この中には大学や専門学校で勉強を頑張っている人、バイトや仕事を頑張っている人、遊びを頑張っている人などいろんな人生を歩んでいる人がいます。そんな仲間たちとまた集まれることを、大変うれしく思います。

僕は、高校3年生の時、大学受験に失敗して1年間浪人生活を送りました。京都の寮に入って、ほぼずっと引きこもって勉強していたのですが、今思えば非常に良い経験でした。一度立ち止まって、自分の人生について考えることができたのは、貴重な経験だったと思います。今、不満に思っていることがある人は、もしかしたら今が立ち止まる時期なのかもしれません。人生をやり直す勇気を諦める必要はありません。

この松前町が懐かしいと思えるのは、愛であふれた仲間や家族との記憶があるからです。また元気で集まれる日が来ることを願っています。

二十歳の誓い interview

実行委員の皆さんに二十歳の決意や今後の抱負を聞きました。

check!

二十歳の記念式、当日に撮影した写真を、町公式インスタグラムとフェイスブックに掲載しています。
ぜひご覧ください。

▼町公式インスタグラム
@ masakicho_official

▼町公式フェイスブック

目標は、イケてる大人

池内健人さん

みんなを笑顔にできる助産師になる

上田透羽さん

後悔しない選択ができるようにいろんなことに挑戦する

木戸優花さん

夢は、空港で働く税関職員日本の安全を守りたい

小西乃愛さん

社長になる

西村恵一さん

4月からは保育士気合いを入れて頑張る！

関谷ほのかさん

夢を実現できるように頑張ります

田中優衣さん

教員になりたい

住田花音さん

お酒をいっぱい飲める大人になる

松林唯奈さん

4月からは社会人いつも笑顔で頑張る

成本沙織さん

すてきな人と出会って結婚したい♡

村上あこさん

夢は、教員か博物館の学芸員いつか松前町の役に立ちたい

大川由翔さん

物事の優先順位を考えられる大人になりたい

橘明花さん

立派なエンジニアになるため、勉強を頑張ります

相原大輝さん

一歩ずつ
夢に向かって―